

## 大阪府・佐賀県における健康影響実態調査について

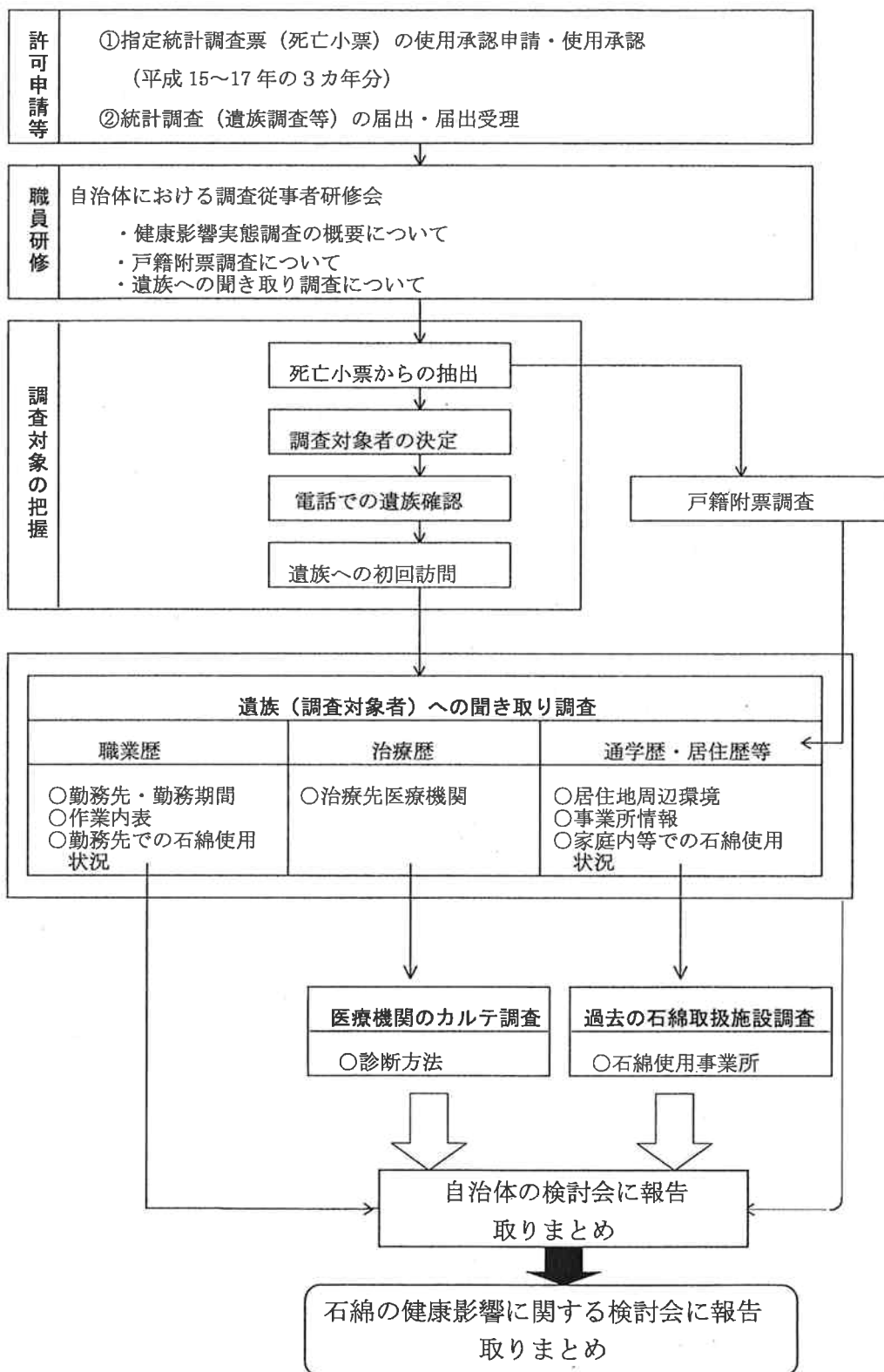
平成18年7月

健康影響実態調査は、中皮腫死亡者の職歴・居住歴や石綿取り扱い施設の地理的分布を整理し、対象地域全体の石綿ばく露の傾向を把握する目的で実施しているものである。平成17年度は兵庫県内で平成14年～16年の人口動態調査における中皮腫死亡者を対象に、遺族の協力を得た聞き取り調査、医療機関のカルテ調査及び石綿取扱い施設調査を実施し、本年5月8日に報告書を取りまとめたところ。平成18年度は、大阪府及び佐賀県において同様の調査を実施し、兵庫県における調査結果と比較し、地域的な特性について解析する。

## ＜調査内容・手順＞

前年度の兵庫県における調査と同様。大阪府内および佐賀県内で平成15年～17年の人口動態調査における中皮腫死亡者を対象に調査を実施する。次ページの健康影響実態調査流れ図参照。

## 健康影響実態調査の流れ



<現在の準備状況>

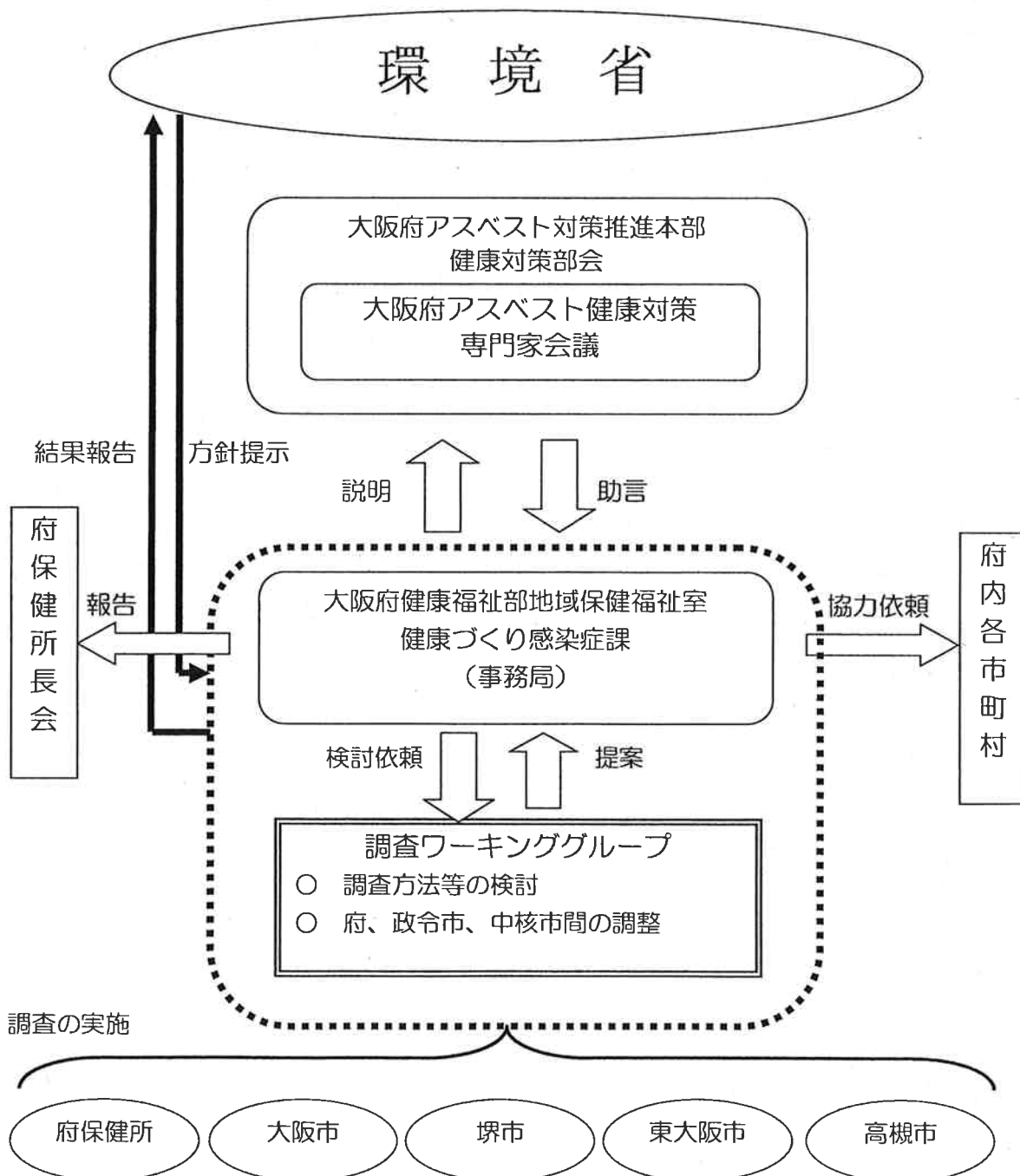
(1) 大阪府

府および府内政令市・中核市（大阪市・堺市・東大阪市・高槻市）が共同で実施することについては了解済。

現在、死亡小票の統計法に基づく目的外使用許可を申請中。同時に、聞き取り調査やカルテ調査、石綿取り扱い施設調査等の実務担当者によるワーキング会議を行い、調査マニュアルの作成など、調査に係る詳細な取り決め等について検討を行っている。

7月下旬～8月上旬に開催予定の「大阪府アスベスト健康対策専門家会議」において最終案を決定する予定である。

・調査組織



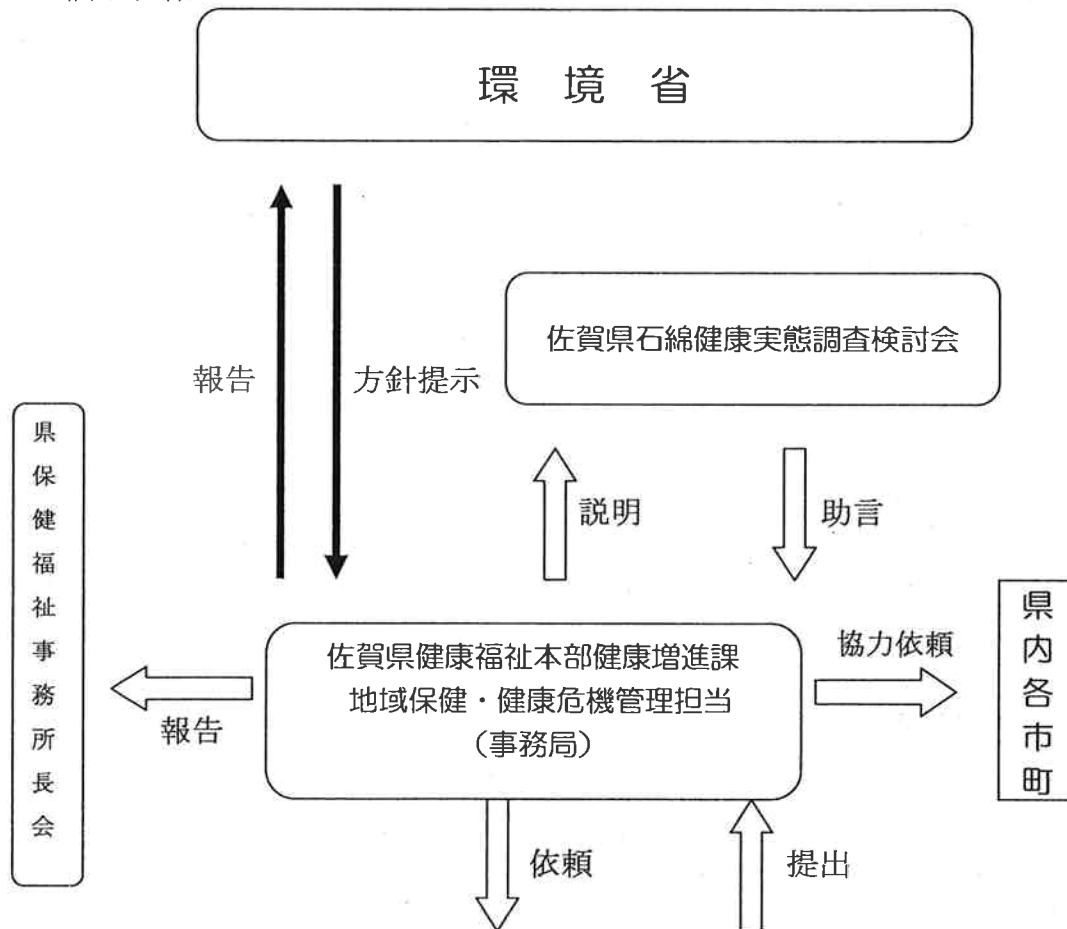
(2) 佐賀県

現在、死亡小票の統計法に基づく目的外使用の申請中。これと平行して、聞き取り調査やカルテ調査、石綿取り扱い施設等の実務を担当する県の担当部署（健康部局・保健福祉事務所）への調査協力依頼を実施し、概ね了解が得られているところである。

同時に、聞き取り調査やカルテ調査、石綿取り扱い施設調査等に関する調査マニュアルの作成など、調査に係る方法等について検討を行っている。

8月に開催予定の「佐賀県石綿健康実態調査検討会」において決定する予定である。

・調査組織



(調査の実施)

(統計処理等の事業一部委託：(財) 佐賀県総合保健協会)

各保健福祉事務所

佐賀中部

鳥 栖

唐 津

伊万里

杵 藤